みどりとひと

no.184
2025年(令和7年)
7月20日発行

樹木のふしぎ／クチナシ
みどり探訪／馬橋公園
特集／気候区民会議
みどりの窓／新しい公園
緑の歳時記／「似て非なるもの」
園芸ワンポイント／盆栽の手法を取り入れた
野菜の鉢植え栽培

クチナシの花

樹木のふしぎ

クチナシ（アカネ科クチナシ属）

庭木や生垣に利用されます。八重咲きのものはガーデニアといい、西洋で品種改良されたもので、実はつけません。

☆どんな木ですか

静岡県以西の、少し湿った所に生える常緑低木です。ジンチョウゲやキンモクセイと共に三大香木の一つといわれています。

☆どんな花と果実ですか

花は大きく良い香りで、イライラや不安を抑制するリラックス効果があります。花びらは6枚の一重咲き、花期の見頃（6～7月）は甘い芳香が漂います。

果実は熟しても開かないため口ナシ（クチナシ）、また、別名センプクとも言われるようです。

☆用途は

果実には黄色い色素が含まれ、タクアンやお正月のきんとんの着色料として使用。また生薬、漢方薬に使用されます。

☆花言葉

甘美な香りが表す
「喜びを運ぶ」
「洗練」
「優雅」などがあります。

八重咲き

クチナシのつぼみ

クチナシの実

杉並区 気候区民会議
SUGINAMI CITIZENS' CLIMATE ASSEMBLY

杉並区気候区民会議とは？

「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、無作為抽出で選ばれた様々な年代の区民が、気候変動対策に関して有識者から情報提供を受けながら、自由に議論を重ねる会議です。

全６回の議論を通じて、全体方針と実現したい杉並区のめざす姿、実現に向けて実施すべきテーマ別（エネルギー、循環型社会、みどり、交通）の取組などが区への意見提案としてまとめられました。今回は、みどりについての部分をご紹介します。

全体方針

方針１　個人の我慢ではなく、社会を大きく変える仕組みを考える

方針２　さまざまな主体が連携し、チカラを出し合う

方針３　みどりや自然を大切にする

方針４　多様な世代が学び合い、将来世代に負担をかけない行動をとる

方針５　地域間の不公平を生まない

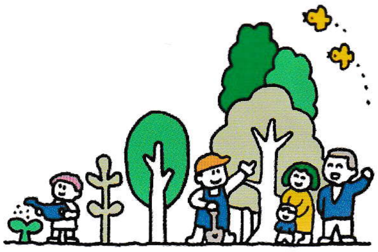
杉並区のめざす姿

環境都市として世界のお手本・モデルになっているまち

高い環境意識が受け継がれ、行動力のある区民が育つまち

快適で豊かな脱炭素の暮らしを実現できるまち

みどり　**質の高い豊かなみどりを守り、育んでいるまち**

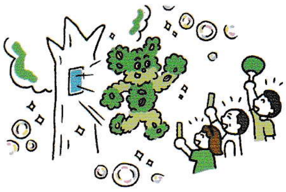


テーマ「みどり」についての提案

みどりを守り・育てる

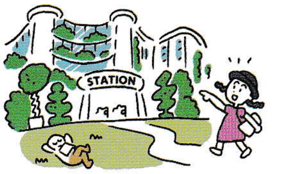
取組18

樹林しか勝たん！私有地のみどりを区民が推し活として守るムーブメント「推し樹林」をつくる



取組19

みどりのおもてなし 駅周辺や大規模な土地に、杉並の顔となるような良質なみどりをつくり区民と守り育てる

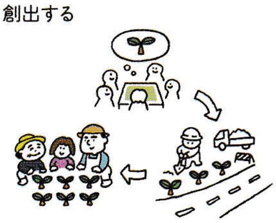


取組20

お願い「みどり先輩」！ みどりに詳しい区民を増やすために、身近なみどりの専門家とつなぐ「みどり先輩マッチングサービス」を立ち上げる

取組21

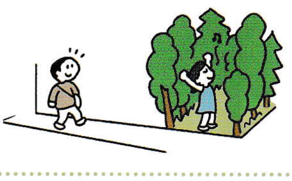
公共のみどりの整備をきっかけとした、コミュニティや活動の場を創出する



みどりを増やす

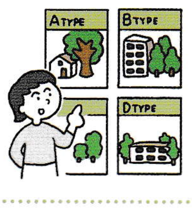
取組22

歩いて10分森林浴ができる杉並区を実現する



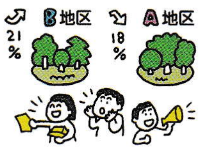
取組23

一人で始められるみどりを増やすためのサポートを充実させる



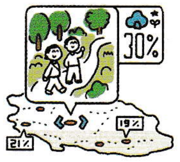
取組24

「わたしが緑を増やさなきゃ」と思える新たなグリーン指標をつくる



取組25

緑視率30%の小さなモデルエリアをつくる



詳しくは区公式ホームページをご参照ください。
気候区民会議の記録や意見提案に対する区の対応などご覧いただけます。